資料１－３

2026年11月9日



中央環境審議会地球環境部　気候変動影響評価･適応小委員会

セブン＆アイ･ホールディングスの取り組み

株式会社セブン＆アイ･ホールディングス
サステナビリティ推進室オフィサー
江上　貴司

本日の内容

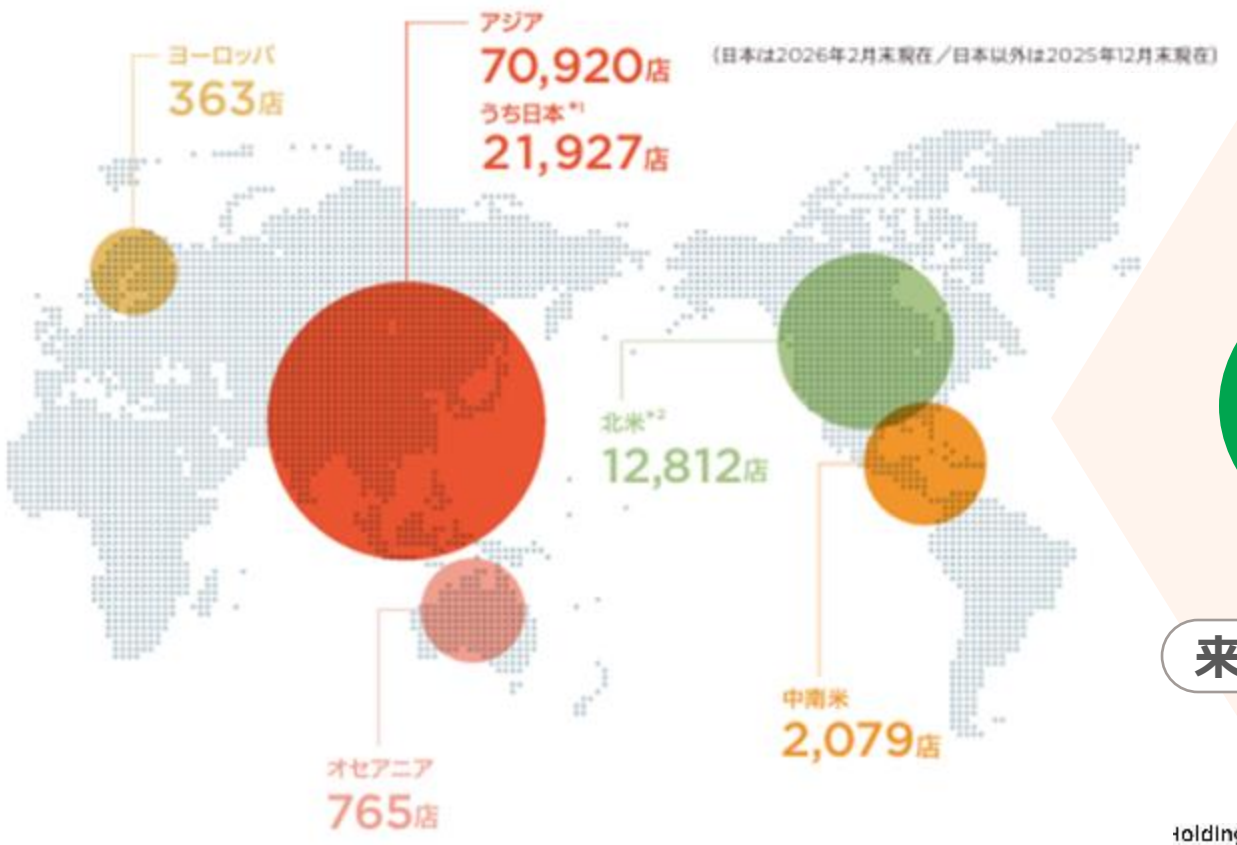
❶　セブン＆アイ・ホールディングス取り組み紹介

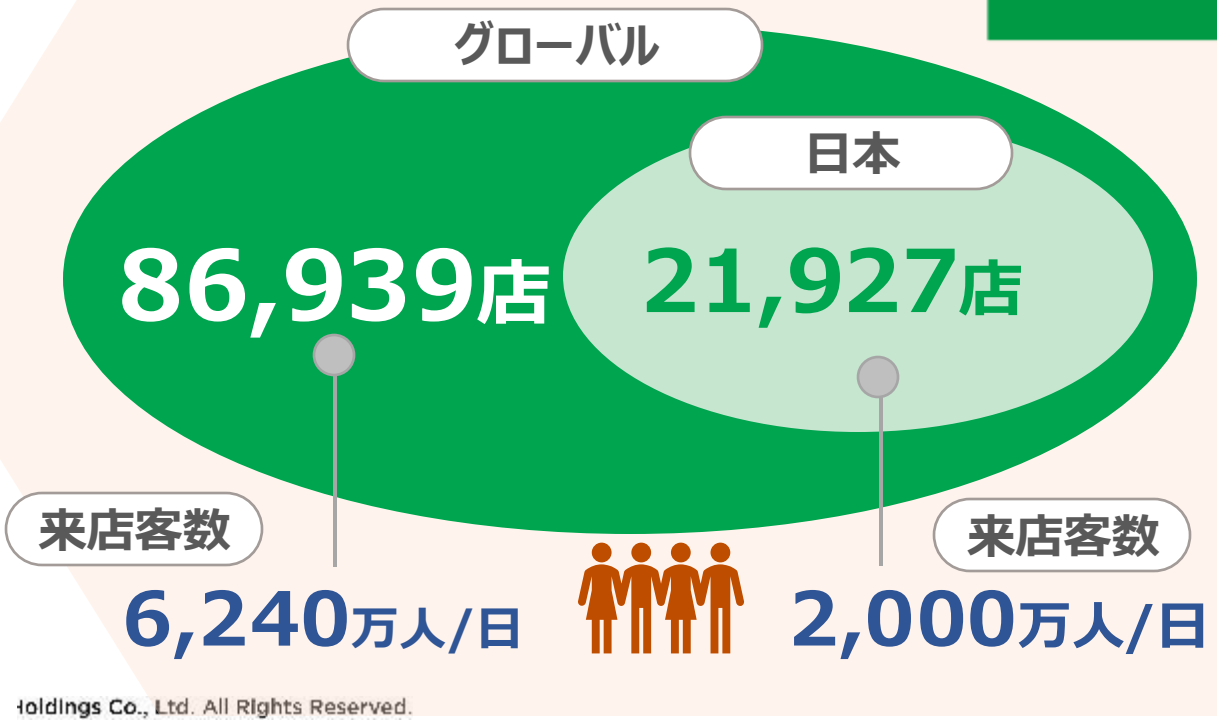
❷　TCFD・TNFD対応の進捗

❸　適応事例のご紹介

Copyright (C) Seven & I Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

圧倒的な顧客接点
チェーンとしてのグローバル展開
⇔　小売業はローカル（地域密着）ビジネス

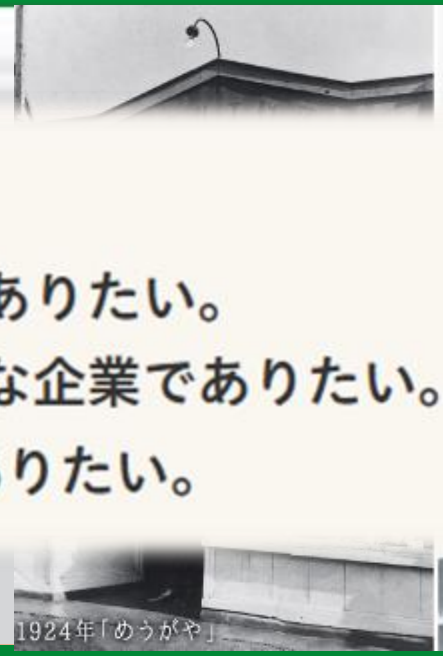




Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

企業理念

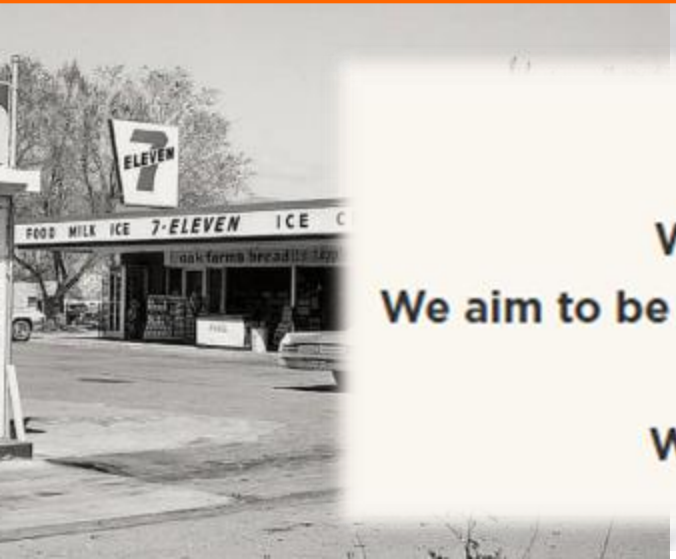






社是

私たちは、お客様に信頼される、誠実な企業でありたい。
私たちは、取引先、株主、地域社会に信頼される、誠実な企業でありたい。
私たちは、社員に信頼される、誠実な企業でありたい。





Corporate Creed

We aim to be a sincere company that our customers trust.
We aim to be a sincere company that our business partners, shareholders and local communities trust.
We aim to be a sincere company that our employees trust.

Copyright(C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

選ばれ続けるために / Be the First Choice





お客様
Customers

お取引先
Business Partners

株主・投資家
Investors

SEVEN&i HOLDINGS

信頼と誠実

従業員
Employees

加盟店
Franchisees

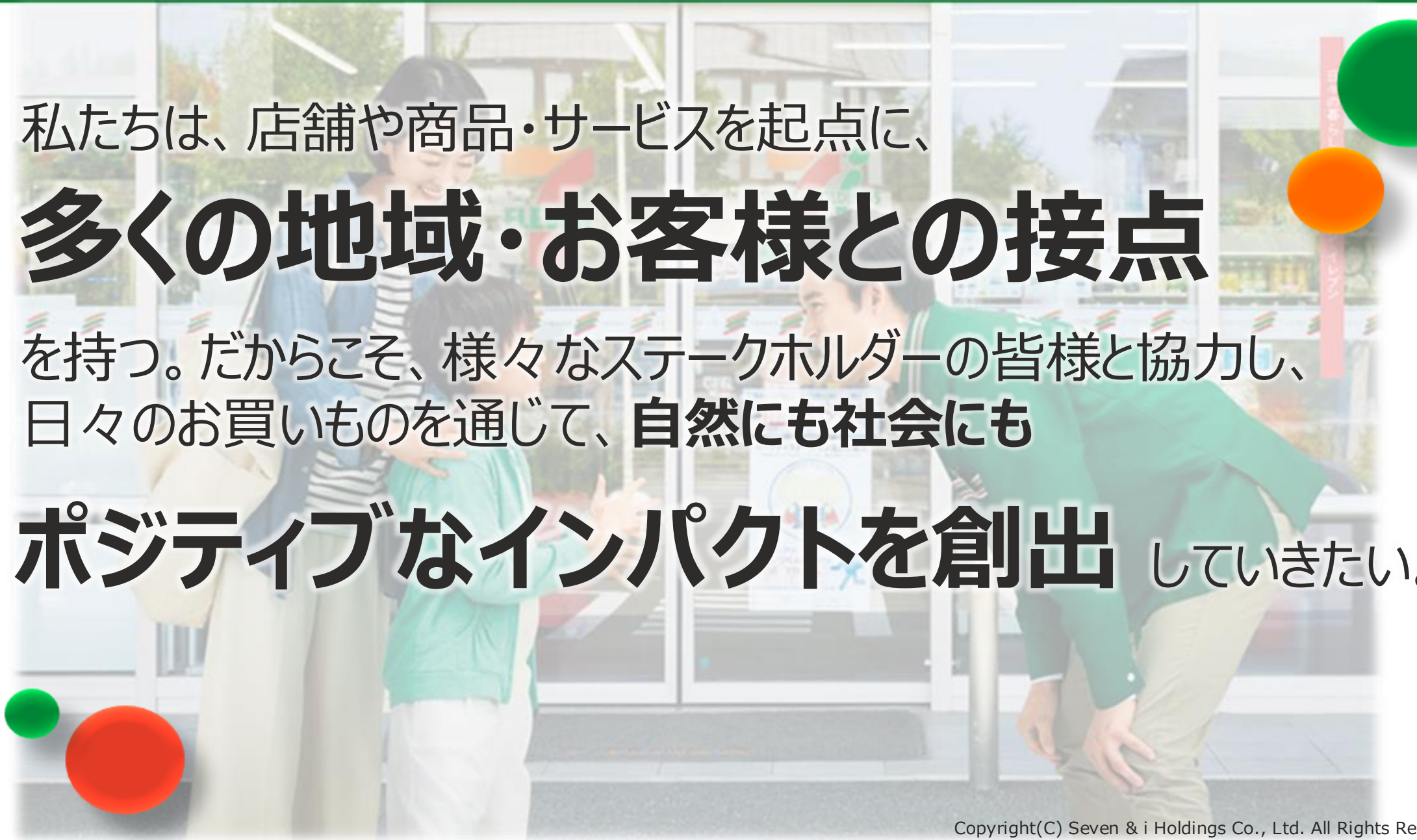
地域社会
Local Communities

地球環境
Global Environment





Copyright(C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.



私たちは、店舗や商品・サービスを起点に、

多くの地域・お客様との接点

を持つ。だからこそ、様々なステークホルダーの皆様と協力し、
日々のお買いものを通じて、**自然にも社会にも**

ポジティブなインパクトを創出していきたい。

Copyright(C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

サステナビリティ戦略マップ　【Ver.2.0】

パーパス

First Choice, Anytime, Anywhere

目指す姿

持続可能な社会　⇄ **両立** ⇄　**企業の持続的成長**

７つの重点課題（目指す社会）

事業を通じた社会課題解決

戦略

事業の成長を促すE(環境)・S(社会)の推進　▶　**「共感の輪」を拡げ 行動変容につながるコミュニケーション**

環境戦略

- 環境宣言 『GREEN CHALLENGE 2050』
- TCFD／TNFD（ネイチャーポジティブ）

社会戦略

- 人権デュー・ディリジェンス
- グリーバンスメカニズム
- CSR監査
- 社会貢献活動

コミュニケーション戦略

- SSBJ基準への対応
- ESG評価の向上
- 店舗や商品などを通じたコミュニケーション
- 最新情報の取得

基盤

シナジーの追求　**パートナーシップ**

コーポレートガバナンスの強化 ／ コンプライアンスの徹底 ／ 人財・人的資本の強化 ／ ウェルビーイングの実現

社是 （信頼と誠実）

本日の内容

❶ セブン＆アイ・ホールディングス取り組み紹介

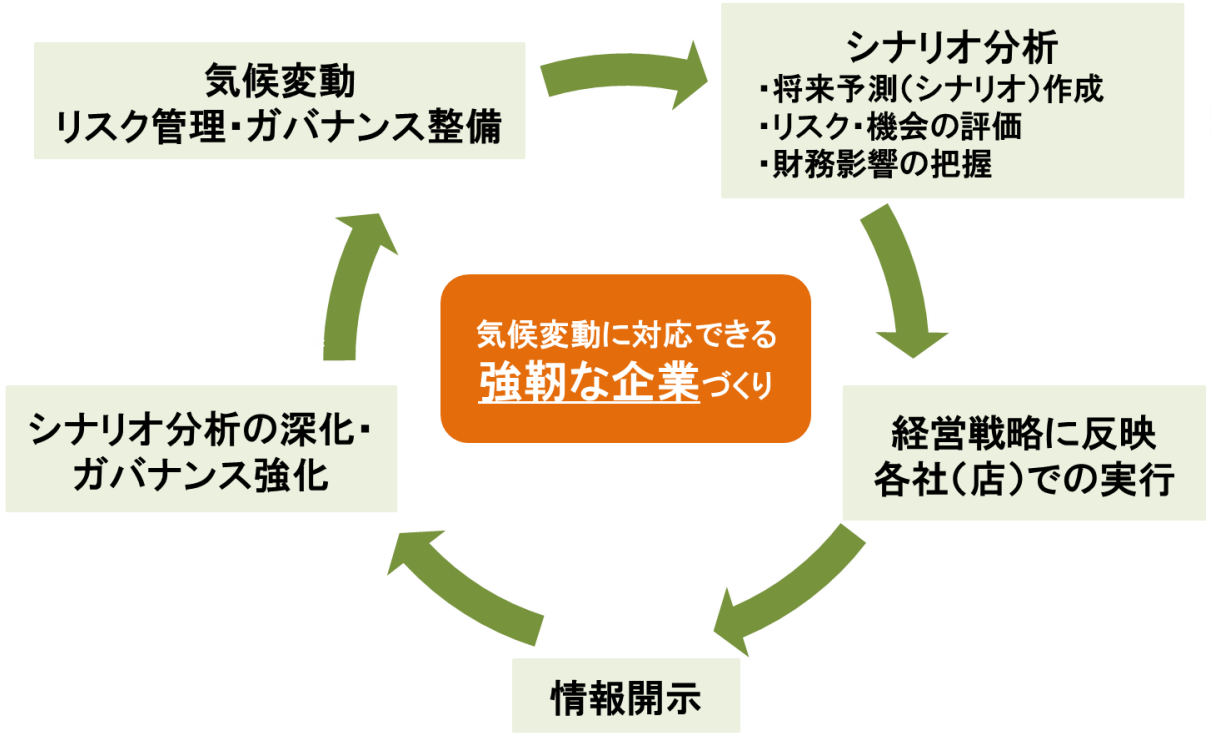
❷ **TCFD・TNFD対応の進捗**

❸ 適応事例のご紹介

Copyright (C) Seven & I Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

TCFD・TNFDの取り組みの目的

持続可能な社会 ⇔ **両立** ⇔ **企業の持続的成長**





TCFDの枠組みを活用した企業のレジリエンス向上

安定した経営の基盤となる安定した自然

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

TCFD・TNFD対応の進捗

TCFD・TNFD提言にもとづき、気候・自然関連の対応を順次拡大

	TCFD対応	TNFD対応
2019年度～2021年度	● TCFD提言に賛同 ● シナリオ分析実施（国内コンビニエンス事業） ⇒21年度に分析の深化 ● 初めての情報開示	
2022年度	● 国内コンビニエンス事業の開示内容を更新 ● スーパーストア事業のシナリオ分析実施	● TNFDフォーラム参画 ● SBTN Corporate Engagement Programに参画 ● TNFDに基づいた開示に向け、データ収集などに着手
2023年度	● 移行計画を開示（ウェブサイト） ● スーパーストア事業分析結果を開示 ● シナリオ分析のアップデートと対応策の進捗確認 ● 海外コンビニエンス事業のシナリオ分析実施	● TNFDに基づいた開示に向け、データ収集などを継続
2024年度	● 海外コンビニエンス事業分析結果を開示 ● シナリオ分析のアップデートと対応策の進捗確認	● TNFD Adopter登録 ● 当社グループ事業の自然への依存・影響の分析 ● セブン＆アイ・ホールディングス自然資本に関する方針策定 ● コーヒー豆のLEAPアプローチを用いた分析の進捗を初開示
2025年度	● 対応策の進捗確認	● コーヒー豆、米のLEAP分析結果の開示 ● 対応策の立案
2026年度	● 物理的リスクの更新　● 移行計画の見直し　● ポジティブインパクトの開示	

『気候・自然関連情報報告書-TCFD・TNFD統合開示-』

更新版『気候・自然関連情報報告書 -TCFD・TNFD統合開示- 』

Copyright (C) Seven & I Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved

ガバナンスやリスク管理に加え、リスク・機会分析についても気候変動・自然情報をあわせて開示

ガバナンス

（2025年9月現在）

3.1 サステナビリティ推進体制

気候 自然

当社グループでは、気候変動や自然資本等を含むサステナビリティ課題は、グループ会社横断で取り組むべき重要事項と位置付けています。これらの課題に対しては、取締役会による監督のもと、サステナビリティ委員会を中心としたガバナンス体制を構築しています。

■サステナビリティ推進体制



リスク・機会分析

4.1 リスク・機会分析

気候 自然

分析を通じて認識した気候変動・自然関連の重要なリスクと機会は以下の通りです。

■認識した重要なリスク

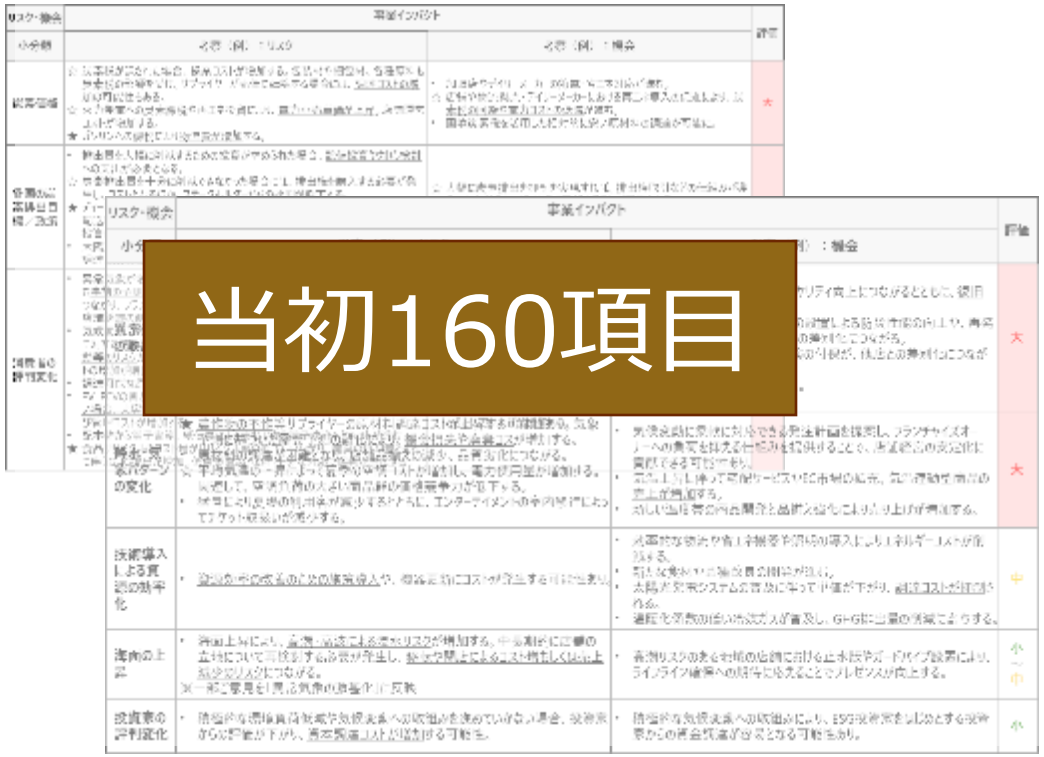
リスク・機会の項目		分野	対象	想定シナリオ	認識した重要なリスクと機会
物理的リスク	急性	気候	直接操業	温暖化進行シナリオ	● 深刻な自然災害の発生頻度や強度が強まり、店舗被害や商品損害、サプライチェーンの混乱、店舗へのアクセス遮断、休業による売上損失、またその復旧費の発生等で損害額が増加
		気候	原材料		● 降水、気象パターンの変化により、サプライチェーンの混乱の発生、サプライチェーン上の水リスクの増大、商品原材料の収穫量減少に伴う商品原価の上昇
	慢性	自然	原材料		● 降水、気象パターンの変化および病害虫発生による収量減少・品質低下により、商品原材料の原価上昇や自社調達担当者の調達に係る労働時間増加による調達コストや人件費の増加
					● 世界的な排出量規制や炭素税などのカーボンプライ

※自然関連のシナリオは、気候変動における温暖化進行シナリオの範囲に収まる範囲で複数の外部環境を想定

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

社内各部が自部門に関連する気候関連リスク・機会を洗い出し、シナリオ分析、定性・定量の評価を経て、重要なリスク・機会を抽出

❶ 各部が気候関連リスク・機会の洗い出し



当初160項目

❷ シナリオ設定

脱炭素シナリオ（1.5℃～2℃） →

- 法規制
- 増税
- 消費行動の変化
- 物価高

温暖化進行シナリオ（2.7℃～4℃） →

- 災害増
- 原材料不足

Copyright (C) Seven & I Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

❸ 9※のリスク・機会に絞り、定性・定量評価（2030年の影響）

脱炭素シナリオ	＜リスク＞ ・炭素税 ・電力小売価格上昇 ＜機会＞ ・消費者のサステナブル商品やサービスへの関心が増加 ・ EV充電の需要増加
温暖化進行シナリオ	＜リスク＞ ・自然災害 ・降水、気象パターンの変化 ・世界的な気温上昇 ・気候変動による調達量の不足や品質低下 ＜機会＞ ・夏季の高温によりお客様の外出頻度低下

❹ 特に影響が大きいリスクの財務影響を開示（2030年の影響）

■脱炭素シナリオ

炭素税の課税 144億円	・炭素税額：135ドル/トン-CO2(IEA「World Energy Outlook 2022」の最大金額)

■温暖化進行シナリオ

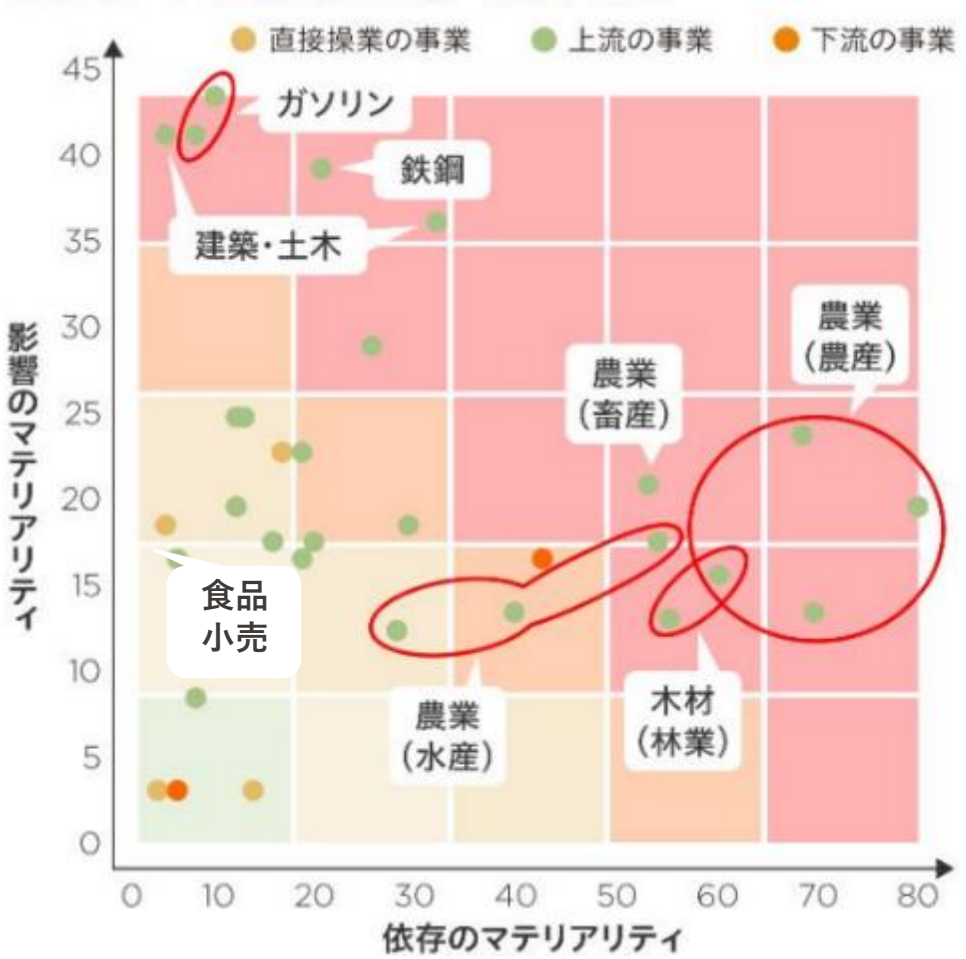
自然災害の被害 111.9億円	・首都圏店舗の洪水被害（荒川の氾濫を想定）を試算 ・過去の洪水被害の実績から試算。被害の程度を把握するため、保険適用を考慮せず試算
原材料原価上昇 57億円	・気候変動による収量低下のみに起因する原価上昇を試算 ・米22.3億円、海苔：19.3億円、畜産物(牛肉・豚肉・鶏肉・卵):15.4億円

※7-Eleven,inc.の分析結果を加えて、報告書では12の主要なリスクを開示

Copyright (C) Seven & I Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

サプライチェーン全体を対象に、自然への依存・影響を調査
→「農林水産物の生産」、特に「農産物の生産」で自然へ依存

サプライチェーン全体を調査



サプライチェーン上流「農林水産物の生産」、特に「農産物の生産」で自然へ依存

当社にとっての重要性（取り扱い量等）・の観点も加えて、重要原材料を選出

コーヒー豆・米・大豆を重点原材料と定める

コーヒー豆	大豆	米	カカオ
豚肉	たまご	小麦粉	サトウキビ

鶏肉	牛肉	乳製品
野菜・果物	海苔/水産養殖	パーム油

Copyright (C) Seven & I Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

抽出した機会とともに対応策も事業のレジリエンスを高める機会としてとらえ、事業の中への落とし込みを目指す

機 会

- 共同調達、サプライチェーンの強靭化
- 生産地支援
  生産性向上、環境配慮型設備の支援
  再生農業の導入など
- 研究開発　品種改良・生産性向上
- 調達地分散、新規調達地開拓
- 使用品種見直し、代替原材料開発

対 応 策

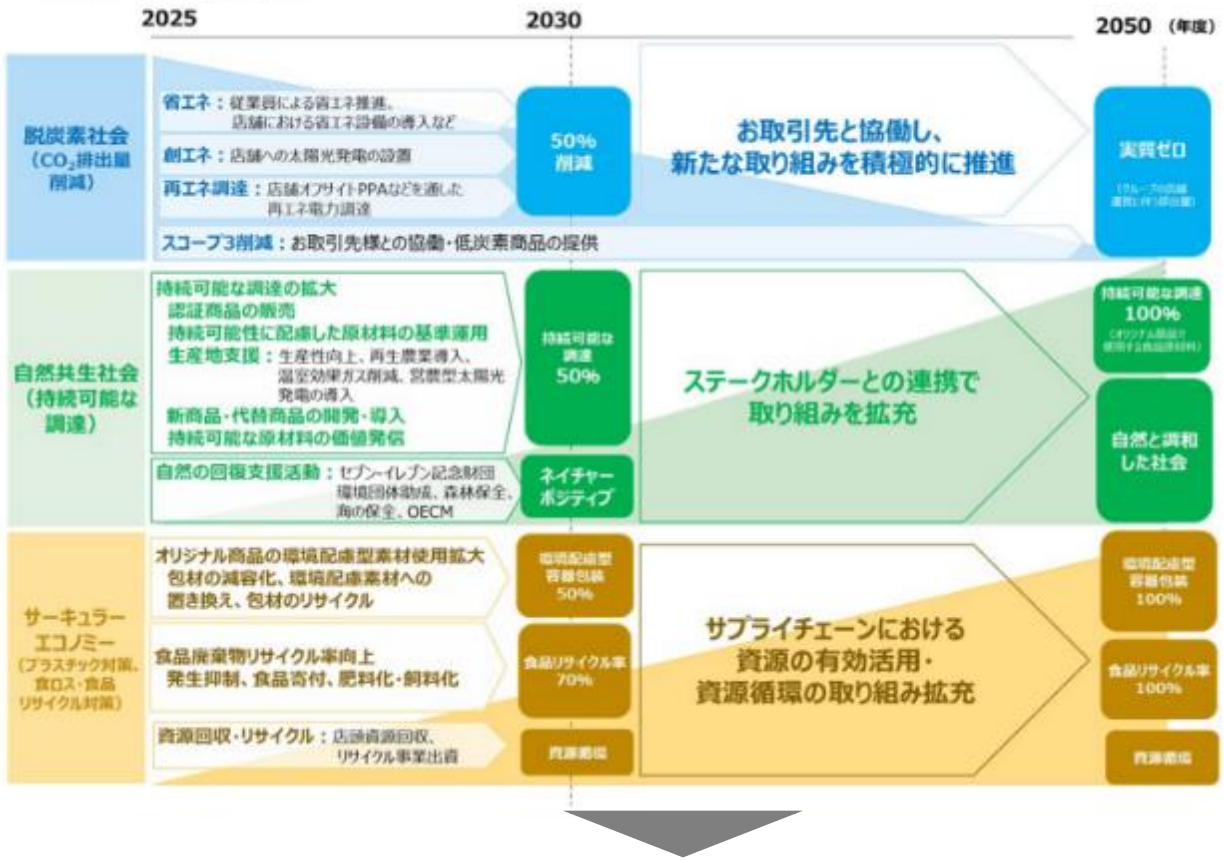
- サステナブル調達：ブランド化
- サステナブルファイナンスによる資金調達
- 産地保護、復元、再生による
  収量の安定確保、向上→産地確保
- 持続可能な原材料調達による
  コンプライアンスコストの低下
- 代替品開発による市場創出

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

移行計画

私たちが目指す「脱炭素社会（気候変動対応）」「自然共生社会（自然へ対応）」、「循環経済社会」の3つの社会への移行計画を開示

■2050 年に向けた移行計画



【SSBJ基準】
つながりのある情報の開示

29．次の種類のつながりを理解できるように情報を開示しなければならない。

(1)その情報が関連する項目の間のつながり

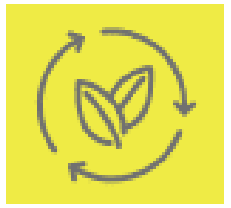
(2)サステナビリティ関連財務開示内の開示の間のつながり

(3)サステナビリティ関連財務開示と、その他の財務報告書の情報との間のつながり

各テーマの具体的なロードマップを深めていく　相互のトレードオン・トレードオフ関係の認識と施策へ反映していく

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

【ご参考】環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』

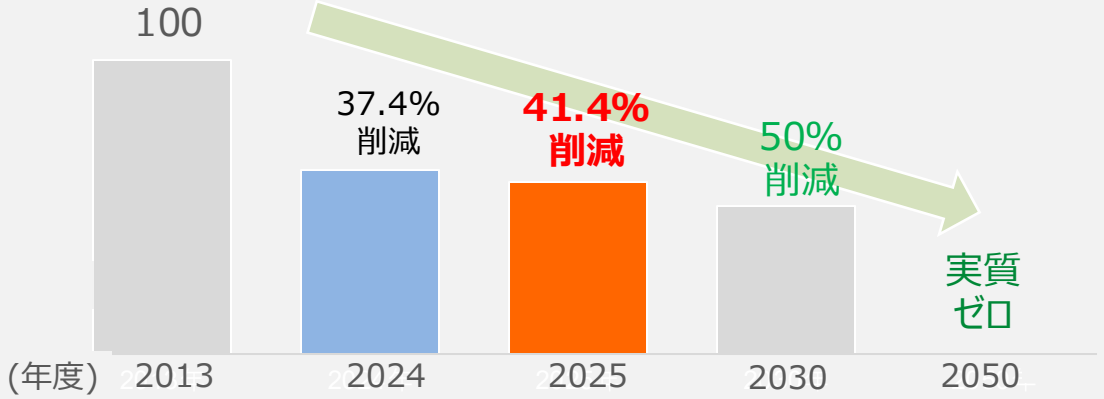
	脱炭素社会	循環経済社会	自然共生社会
		2030年目標	2050年目指す姿
	**①CO_2排出量削減** Reduction of CO_2 emissions	グループの店舗運営に伴うCO_2排出量 **50%削減**	グループの店舗運営に伴うCO_2排出量 **実質ゼロ**
	**②プラスチック対策** Measures against plastic	環境配慮型素材 **50%使用**	環境配慮型素材 **100%使用**
	**③食品ロス・食品リサイクル対策** Measures against food waste	食品廃棄物 発生原単位 **50%削減** 食品リサイクル率 **70%**	食品廃棄物 発生原単位 **75%削減** 食品リサイクル率 **100%**
	**④持続可能な調達** Sustainable procurement	オリジナル商品 持続可能性が担保された材料 **50%**	オリジナル商品 持続可能性が担保された材料 **100%**

Copyright(C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

【ご参考】環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』 進捗状況

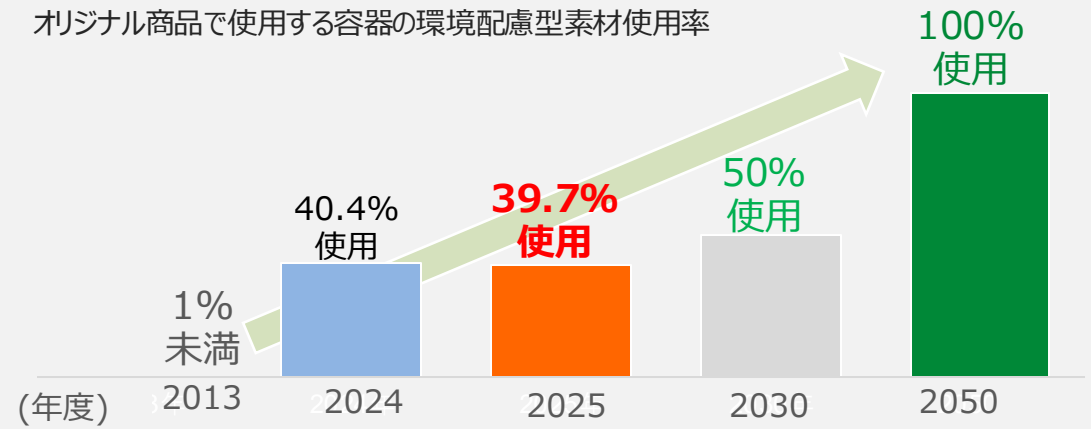
❶ CO_2排出量削減（北米含む）

グループの店舗運営に伴う排出量の削減率



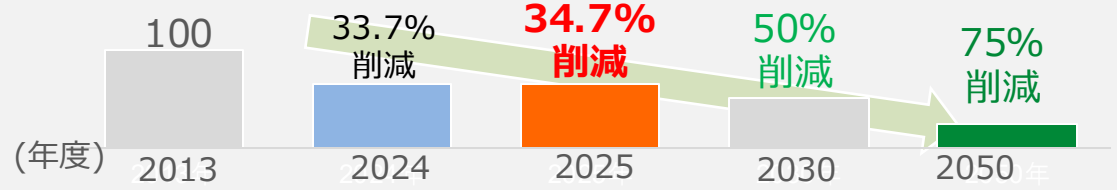
❷ プラスチック対策（北米含む）

オリジナル商品で使用する容器の環境配慮型素材使用率

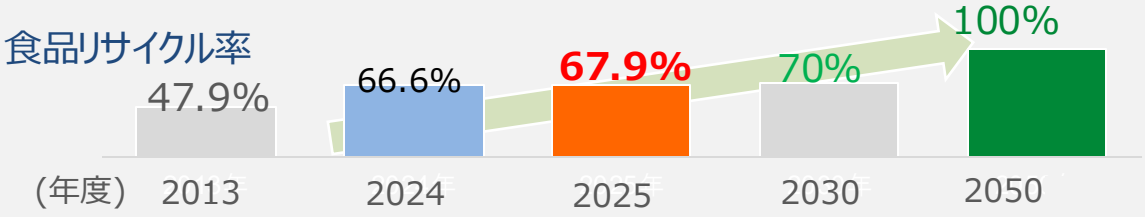


❸ 食品ロス・食品リサイクル対策（国内のみ）

食品廃棄物の削減率

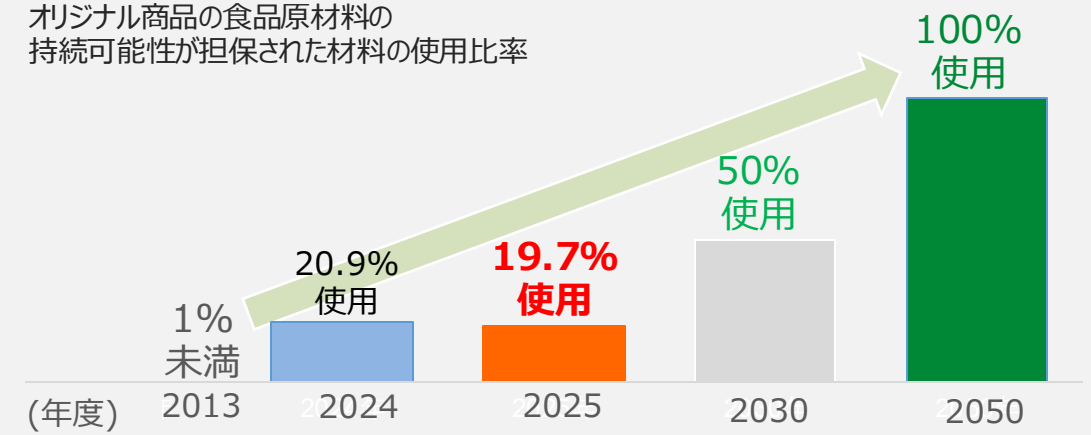


食品リサイクル率



❹ 持続可能な調達（国内のみ）

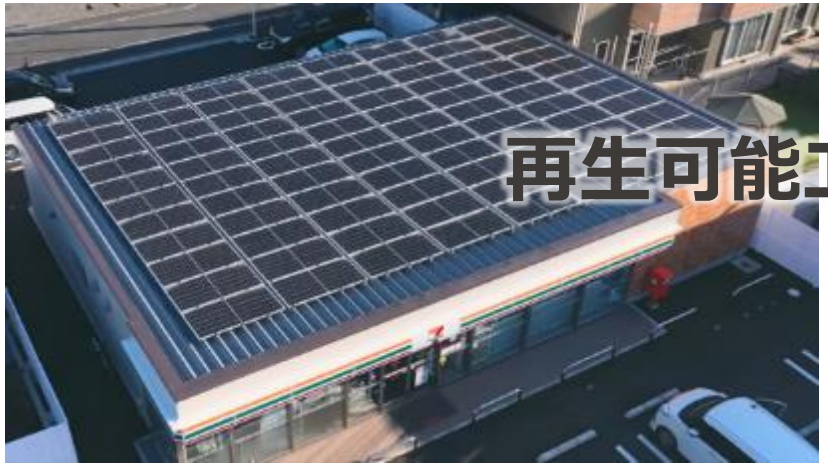
オリジナル商品の食品原材料の
持続可能性が担保された材料の使用比率



【ご参考】気候変動緩和に関する取り組み①

各目標ごとに取り組みを推進

脱炭素社会



再生可能エネルギーの創出

再生可能エネルギーの調達



技術開発 / Innovation

水素焙煎 ※グリーン水素使用

焙煎時のCO_2排出量ゼロ



Copyright(C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

【ご参考】気候変動緩和に関する取り組み②

各目標ごとに取り組みを推進 / Promote initiatives for each target.

循環経済社会

水平リサイクル





循環経済社会

食品ロス削減



エコだ値告知ポスター



自然共生社会

持続可能な原材料の調達





cocoa HORIZONS

Copyright(C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

本日の内容

❶ セブン&アイ・ホールディングス取り組み紹介

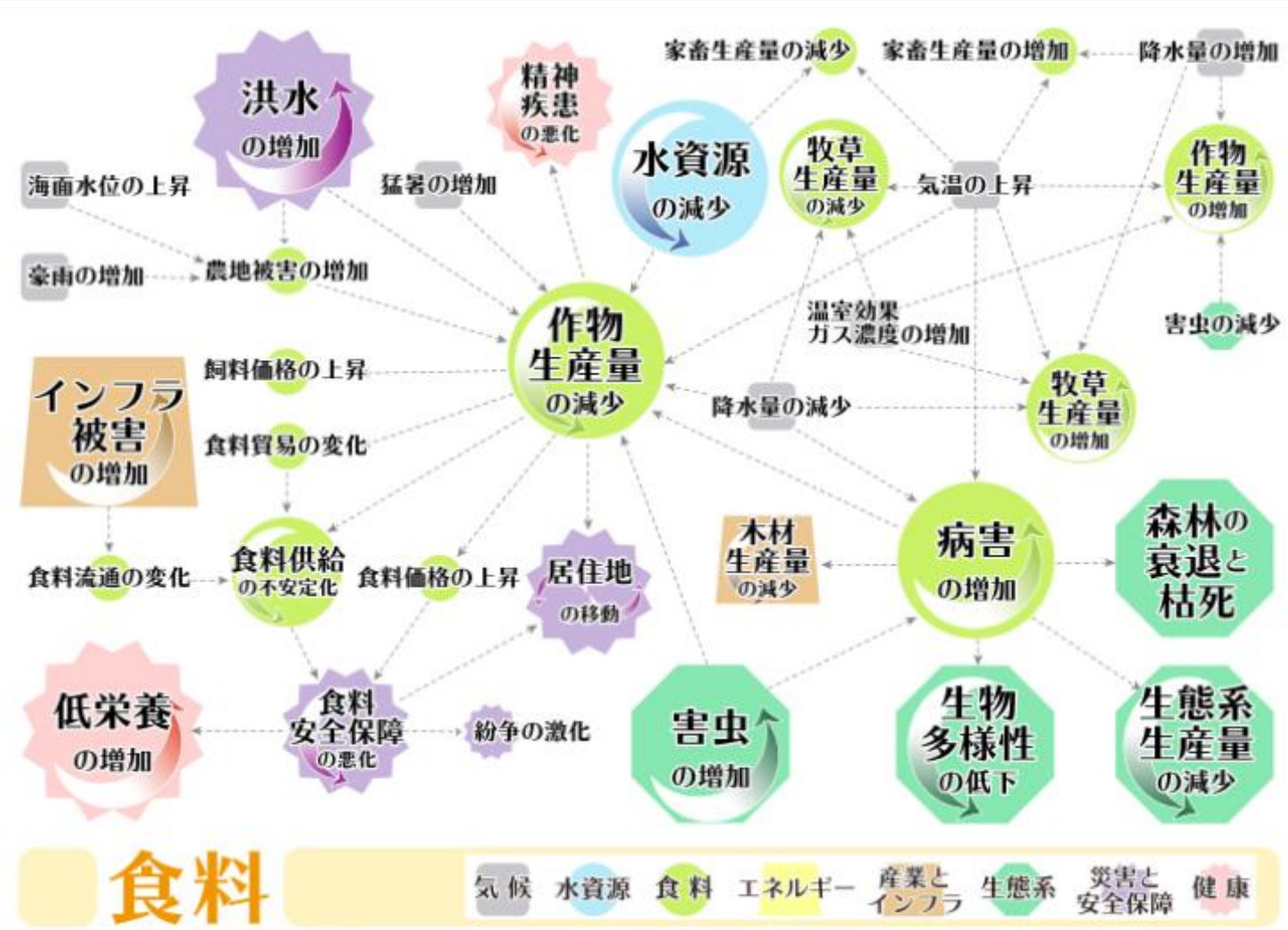
❷ TCFD・TNFD対応の進捗

❸ **適応事例のご紹介**

Copyright (C) Seven & I Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

気候変動と自然の影響関係

気候変動・自然の課題は相互に様々な影響関係にあり→統合開示



国立環境研究所「食料分野の影響をあらわしたネットワーク図」

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

食品ロス低減にも貢献　規格外原材料への取り組み

セブンカフェスムージー



フードロス低減の取り組み

大きさや見た目の問題で規格外となってしまった
野菜やフルーツを余すことなく活用することで、
フードロスの低減にもつなげていきたい



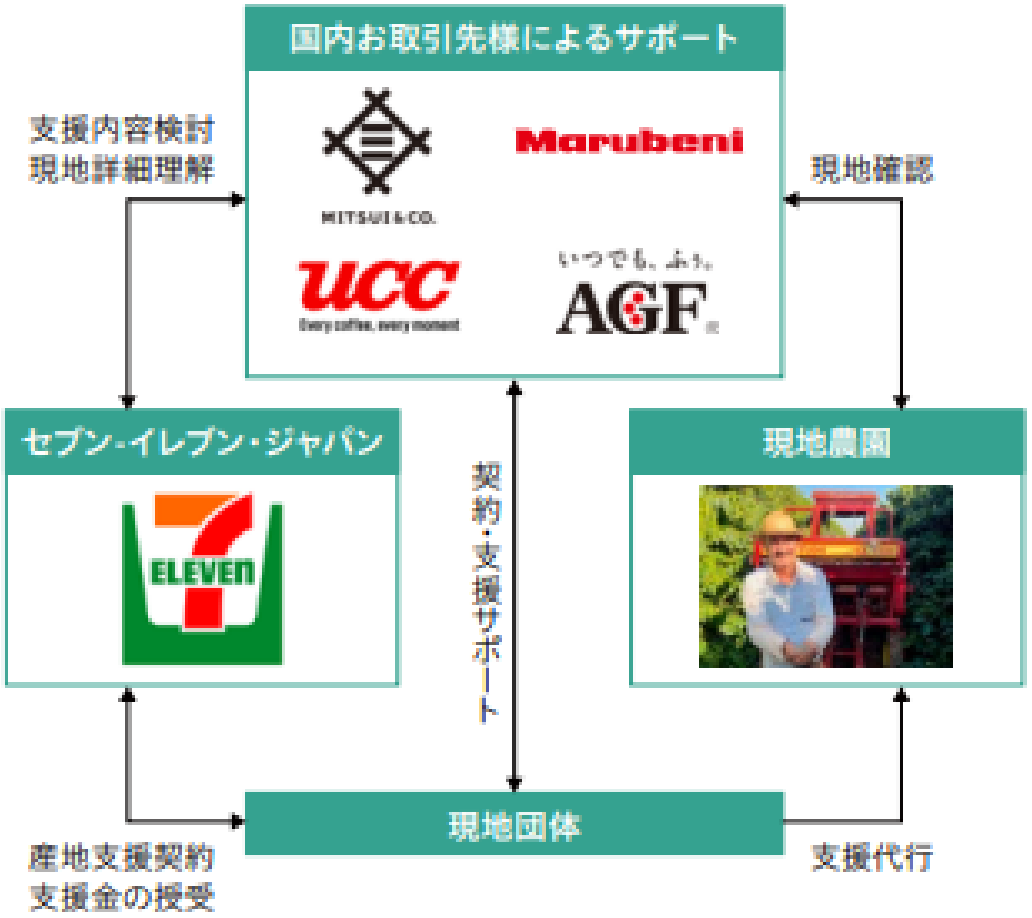
もったいない商品の取扱い



Copyright(C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

産地との対話と支援活動

セブンカフェコーヒー産地支援全体像



環境保全・気候変動対応

ブラジルでは、再生農業（リジェネラティブ・アグリカルチャー）の取り組みとして、土壌改良に役立つ植物（カバークロップ）の栽培・活用を支援。土壌の肥沃度向上や化学肥料使用量の削減を図る。

コロンビアでは、節水型設備（ウェットミル）の導入を支援し、水資源の保全と生産効率の向上を図る。

生産性・品質向上と気候変動対応を支援

タンザニアでは、乾燥台（アフリカンベッド）の導入を通じてコーヒー豆の品質向上を支援し、生産者の収入改善につなげている。また、苗木やコーヒーの木を直射日光から守るシェードツリー（日陰樹）の寄贈を通じて、気候変動への適応と安定的な収穫量の確保を支援。

Copyright(C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

地域の産業と里山里海の生態系の維持に貢献

商品開発 × 食育

※これらの商品は現在終売しております。

くまっこ おむすびセット



阿蘇小国ジャージー牛乳使用 ホイップロール



熊本県産ゆうべにのジャム使用 ホイップロール





阿蘇高菜



阿蘇小国ジャージー牛乳



熊本県産 ゆうべに

Copyright(C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

店舗やサプライチェーン上のお取引先との自立電源へのシフト



2023年11月には、セブン-イレブン店舗向け温度帯別共同配送センターの一つであるチルド・フローズン日野センターにおいて、センター運営会社のエスアイシステムが太陽光パネルを設置。

2025年7月からは、循環型モデルの拡大を目指し、日立製作所と連携して、チルド・フローズン日野センターに蓄電池や電力測定装置を設置し、蓄えた電力を電気トラックや関連設備で活用する実証実験を開始。

本実証実験では、電気自動車のリユースバッテリーを利用した可動式蓄電池をセンターへ設置し、太陽光発電による電力を蓄電。その電力を車両の予冷や電気トラックに活用するとともに、エネルギー使用量の可視化を進めている。

Copyright(C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

災害状況の“見える化”で一日も早い店舗復旧へ

災害対策システム「セブンVIEW」



地図上にセブン-イレブン店舗の停電情報のほか、地区事務所や工場、配送トラックなどをアイコンで表示。

専門機関から発信される災害や交通、気象、避難などの情報を地図データと重ね合わせることで、各店舗の災害リスクがひと目でわかる仕組み。

多くの情報を一元化したことで、状況判断のスピードが各段にアップ。

自治体などとのデータの相互活用も推進し、店舗の復旧にとどまらないライフラインとしての活用を目指す。

Copyright(C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

設立33年を迎え、持続可能な活動を推進している「一般財団法人セブン-イレブン記念財団」

行政　加盟店

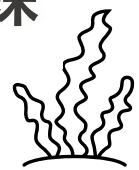
市民団体　セブン-イレブン社員

セブンの森





セブンの海の森

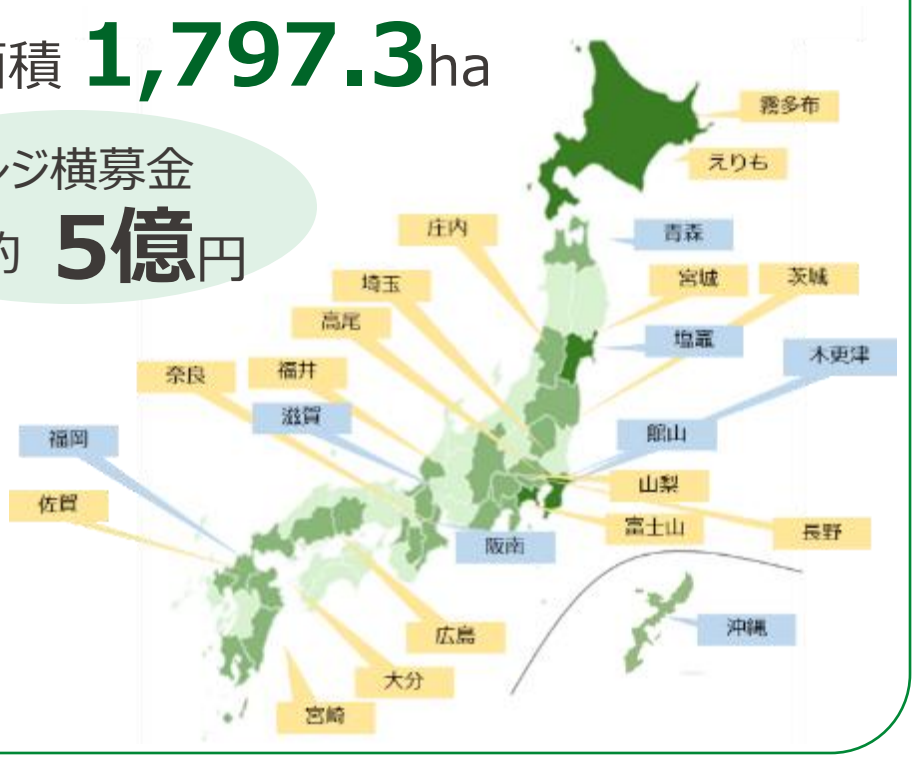




「セブンの森」づくり　（2025年度末時点）

- **32**カ所(うち終了12カ所)
- 面積 **1,797.3**ha

店頭レジ横募金
年間約 **5億**円



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

気候変動適応に関する取り組み⑦　店舗や商品などを通じたコミュニケーション

社会的な期待・要請：お客様やお取引先様との接点→共創により行動変容を促し社会変革へ



＜お客様との接点＞

【日本・北米】
・約35,000店舗
・約3,000万人/日

【グローバル】
・約87,000店舗
・約6,200万人/日

食品を中心にサステナ要素を加味した開発・品揃え





商品・サービス・店舗(加盟店)を通じた情報発信・啓発







知る → 意識変化 → 自分ごと化 → 行動変容 → 世論醸成 → 社会変革 → 持続可能な社会

Copyright(C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

今回は、7&iとしても主旨に賛同、企画全体もサポート、SEJ・セブン－イレブン記念財団と連携

■暑すぎる夏を終わらせるWEEK　概要

目的	気候変動の「腹落ち・自分ごと化」を通じた、世論基盤の構築
期間	**2026年8月1日（土）～　8月9日（日）**
主催	JAPAN 8・8 PROJECT　実行委員会（主幹事：JCLP）
主な施策	記念週間制定、プレスリリース、フラッグシップイベント（８月３日・8月7日　渋谷にて） ハチ公除幕式・お天気ボード等の象徴的施策/特設 Web・SNS連動発信 その他、各社・各団体からの自由な発信・イベントと連携していく
協賛	JCL P 加盟企業を中心に、枠組み施策実施への協賛を募る

＜実施体制＞

主幹事	JCLP（企画・運営に責任を持つ）
実行委員	気象キャスターネットワーク、全国ご当地キャラ協会、東大江守研究室、POW
後援・協力	**環境省、東京都、長野県、北九州市、川崎市、浜松市、松本市、国連広報センター、** 全国建築業協会、全国下水道協会、日本若者協議会、みどりのドクターズ、SWITCH、 NHKエンタープライズ Jリーグ、日本サッカー協会（JFA）

気候変動の「腹落ち・自分事化」を通じた世論基盤の醸成へ

主催：JCLP（Japan Climate Leaders' Partnership）
約240の企業・団体が参画

▼

フラッグシップイベント「暑すぎる夏を終わらせるWEEK」を開催

期間：2026年8月１日～９日　場所：東京渋谷

JAPAN 8・8 PROJECT





TV・新聞・SNS等による広告換算費で約16億円のメディア露出。

情報発信・世論醸成の強化に向けて

スケールとスピードを意識した具体的なアクションとして推進

メディアの活用

・ニュースリリース
・特設サイト
・新聞広告



店舗の活用

・ラッピング
・横断幕
・デジタルサイネージ





社内浸透

・社内アプリや
外部の没入体験イベントの活用
・社内会議での共有





生活者　他企業・団体　**共創**　政府・自治体　アカデミア・専門家

世論醸成　**政策・制度・仕組み**　**社会変革**

最後に　環境課題全体の統合開示と経営との統合に向けて

TCFD・TNFDのフレームワークを活用し、サステナビリティ課題と経営との融合、ステークホルダーとの対話を深めていきたい

持続可能な社会

経営戦略

課題のインプット

［経営との統合］

対応策

分　析

環境課題全体の
リスク・機会
財務インパクト



情報開示



理解・ご協力

［対話］

説明責任

ステークホルダー

お客様
お取引先
加盟店
株主・投資家
地域社会　等

・開示のフレームワーク　・シナリオ分析　・LEAPアプローチ　・各種ガイドライン

TCFD・TNFD

Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

【ご参考】セブンーイレブン・ジャパン　サステナビリティレポート　（2026年11月発行）



https://www.sej.co.jp/library/contents/csr/report/sustainability_report2026.pdf

ぜひ、ご一読いただきまして、
ご意見・ご感想・アドバイスをいただければ幸いです

ght (C) Seven & I Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.